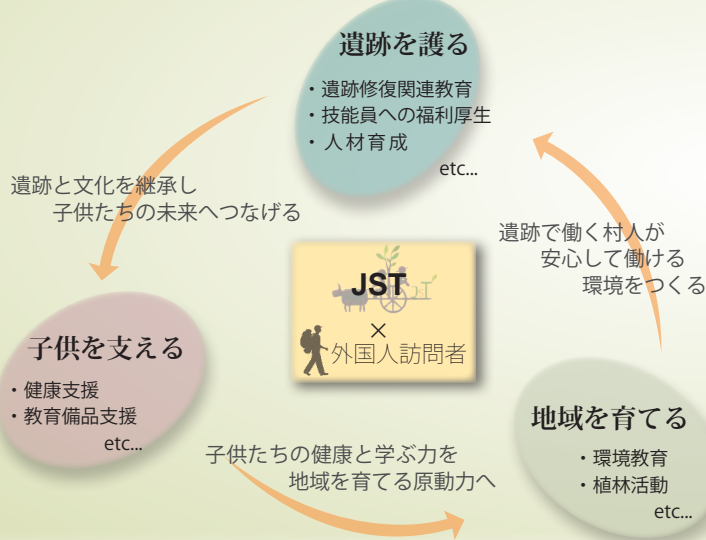


JSTは遺跡周辺に暮らす村の人々と共に活動しています

はじまりは1994年。アンコール遺跡修復事業に派遣された日本人専門家と、作業現場で働くアンコールクラウ村作業員との、村ぐるみの交流がきっかけでした。そして、2005年にローカルNGOとしてJSTが誕生。カンボジアの歴史・風土に魅せられた外国人訪問者を巻き込んで、遺跡と、遺跡で働く村人と、遺跡を訪れる外国人訪問者、すべての人々が集える“場”として、JSTが存在できたらと思っています。



～ JST の主な活動エリア～

JST NEWS!

動画「バイヨン中学校から感謝を込めて。」

2016年1月16日、シムリアップ州知事をお招きして、バイヨン中学校完成式典が行われました。この式典に合わせ、これまでご支援くださった多くの皆様へ感謝を込めて、動画を作成いたしましたので、下記URLよりぜひご覧ください。

<http://y2u.be/-9C0aLPkANo>

※動画は、関西学院大学からのJSTボランティア学生が制作しました。



あなたのチカラをカンボジアの未来へ

皆さまからの会員費・寄付金は、次のような形になって、カンボジアの子供たちに届いています！

- ・農村部の子供たちの栄養補てん
- ・学校教員への補助金（交通費支給）
- ・生徒たちへの文房具支給
- ・体育、美術、音楽の授業実現へ向けた活動
- ・学校整備費、備品購入費
- ・「子供たちのためのアンコール遺跡社会見学会」実施経費

JST 連絡先

JST HP : <http://www.jst-cambodia.net>

Email : info@jst-cambodia.net

住所 : Mr. Chea Nol (097-6710 888),
c/o JASA/UNESCO Office, #056, Group6, Tropeang Ses,
Kokchork, Siem Reap, Cambodia.

担当 : 小出 陽子 TEL:+855-97-8785 627

■ JST 会員随時募集中です！

ご入会いただける方は、JST ホームページより申し込みフォームにご記入の上、Email または FAX にて上記連絡先までお送りください。

個人会員 : US\$50 又は ¥6000

JST にご協力くださる団体・企業の方も大歓迎！

年会費、寄付金のお振込みは下記の口座をご利用ください。

ゆうちょ銀行 名義；ジェイエスティー

普通預金 口座；記号 10010 番号 97367631

(他行より； 店番〇〇八 口座番号 9736763)

JST への支援グループ (2015 年度)

特別協力：日本国政府アンコール遺跡救済チーム (JASA), 日本ユネスコ協会連盟, Café Moi Moi

- | | | | | |
|---|--|---|---|---|
| アンコールやまなみファンド
(一財) 国際開発センター (IDC)
NPO オアシス
幸田サーキット YRP 桐山
名古屋環未来研究所
Together To the Future (TTF) | 関西学院大学、高校
聖心女子学院高等部
愛知県立一宮商業高校
田辺工業高校
神島高校
愛知教育大学 | コーリンズ・山根 せんせい基金
リサイクルの会
明星大学 BUKAS
NPO ふるさと南信州 緑の基金
愛知県額田郡幸田町
山村留学 (公財) 育てる会 | 東京新橋ロータリークラブ
東京レインボーロータリークラブ
ホノルルロータリークラブ
京都ロータリークラブ
一宮中央ロータリークラブ
二戸ロータリークラブ | 紀南ユネスコ協会
(株) パナソニック
(株) KDDI
(株) 三田商会
(株) UDS
(株) 東翔 |
|---|--|---|---|---|



アンコール人材養成支援機構

バイヨン中学校と歩んだ3年間。そして、これから。



2015年度は、JSTにとって、ひとつの節目の年でした。

2015年10月；バイヨン中学校の校舎（教室16教室、教員用宿舎一棟5室、トイレ、体育倉庫、給食かまど）が完成しました。

11月1日；創立3年目の始業日。初めて中学1年生から3年生までが揃い、全校生徒は460名となりました。

2016年1月16日；バイヨン中学校完成式典。日本、アメリカなどから、多くの支援者が集まりました。

1月17日；バイヨン中学校にて、はじめての運動会を実施。地域の人々と共に盛り上がった一日でした。

バイヨン中学校創設前、地域の中学校進学率は、小学校卒業生のわずか15%に満たない状況でした。しかし、中学校ができたことにより進学率はほぼ100%となり、小学校卒業後も勉強を続けたいという地域の子供たちの夢が実現しました。

けれども、この地域には、まだまだ深刻な教育問題が残されています。たとえば……、

- 1) 地域にある5つの小学校では、在学中の留年および中退者数が多いこと。（右表参照。どの学校でも入学人数は毎年ほぼ同人数であるが、6年生まで進級できるのは約半分）
- 2) バイヨン中学校に入学したものの、働くために退学せざるを得なかった生徒がいること。（現在までに18名）
- 3) 中学校卒業後に進学する高校が近くにないこと。
- 4) 今後、小学校での退学者数が減少し、地域の子供たち全員が中学校に進学するようになった場合、バイヨン中学校の教室が足りなくなる。（右表参照。小学校1年生の生徒数を基準とすると、3学年で1000人以上となる。）
- 5) 国から支給される学校運営費が生徒一人当たり1.5ドルと少ないため、他の収入源を考えなければならないこと。
- 6) 国から支給される教員の給料が少ないため、毎月、交通費の補てんを続ける必要があること。

現在、バイヨン中学校のほぼ全員の生徒が進学を希望しています。この希望の光を絶やすことなく、徐々に大きく育てていくことをJSTの次なる目標としていきたいと考えています。

■バイヨン中学校校区にある小学校5校の生徒数リスト

学校名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計(人)
アンコールクラウ	164	137	98	85	81	67	632
コックベイン	42	38	30	33	30	21	194
コックタナオ	80	80	82	80	55	43	420
コックルール	27	18	11	13	27	17	113
ブラサートチャット	46	46	38	38	37	38	243
合計人数	359	319	259	249	230	186	1602



ブログとFacebookにて、JSTの活動とカンボジアの今を発信中！

★ JST HP ⇒ <http://www.jst-cambodia.net>

★ JST Facebook ⇒ [facebook.com/NGO.JST](https://www.facebook.com/NGO.JST)

★ バイヨン中学校 Facebook ⇒ [facebook.com/bayon.secondaryschool](https://www.facebook.com/bayon.secondaryschool)

バイヨン寺院ナーガ、シンハ彫像修復プロジェクト

バイヨン寺院正面の彫像・欄干の修復が完成しました！

2012年よりスタートした本プロジェクトでは、これまでにバイヨン寺院の正面から南側にかけて、外回廊のナーガ像、シンハ像および欄干の修復を行ってきました。これらは過去にフランスによって修復されたものの、そのほとんどが再び破損。崩落した欄干や彫像が周辺に散乱し、景観、安全性の観点からも深刻な状況下にありました。今回の修復では、各部材を修理し、安定した状態に再設置することにより、観光客の安全性を確保すると同時に、景観の改善に貢献することができました。

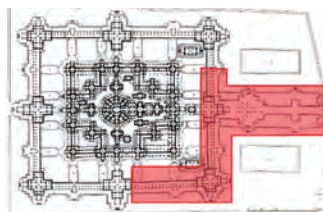
また、修復と同時に、JASAによるこれまで約20年間にわたる修復工事・調査・研究で養成された人材を次の世代へとつなげる「カンボジア人からカンボジア人へ」の技術継承を進めています。日々の厳しい暑さの中で地道に進められてきた修復作業と技術指導により、当プロジェクトの7名のメンバーもたくましく頼れる存在となりつつあります。

※当プロジェクトはJASA(日本国政府アンコール遺跡救済チーム)技術指導のもと、日本ユネスコ協会連盟との共同事業として進められています。

2016年4月からは引き続き第3フェーズを開始しています。その様子は随時ブログにも紹介しますので、是非ご覧ください！



これまでの修復完了範囲と実績



第1フェーズ：2012.9-2014.3

第2フェーズ：2014.4-2016.3

ナーガ彫像：24体

シンハ彫像：13体

欄干部材：410か所